

令和5年度 第1回 長井市都市計画審議会 会 議 録

日 時 令和6年2月6日（火）

10：00 ～ 11：30

場 所 長井市役所2階 庁議室

長 井 市 都 市 計 画 審 議 会

委員の出席状況

No.	区 分	氏 名	出 欠	備 考
1	1 号 委 員 (学識経験者)	横 山 寛 道	出 席	
2	1 号 委 員 (学識経験者)	加 藤 俊 昭	出 席	
3	1 号 委 員 (学識経験者)	高 橋 郁 子	出 席	
4	1 号 委 員 (学識経験者)	村 田 裕 子	欠 席	
5	2 号 委 員 (市議会議員)	鈴 木 一 則	出 席	長井市議会 総務常任委員長
6	2 号 委 員 (市議会議員)	今 泉 春 江	出 席	長井市議会 文教常任委員長
7	2 号 委 員 (市議会議員)	鈴 木 裕	出 席	長井市議会 厚生常任委員長
8	2 号 委 員 (市議会議員)	内 谷 邦 彦	出 席	長井市議会 産業・建設常任委員長
9	3 号 委 員 (行政機関職員)	多 田 栄 作	欠 席	山形県置賜総合支庁 建設部次長
10	3 号 委 員 (団 体 役 員)	横 山 照 康	欠 席	長井商工会議所 専務理事
11	3 号 委 員 (団 体 役 員)	今 盛 秀 彦	欠 席	(一社)山形県建築士会 長井支部長

事務局の出席

技術参与	青木 邦博
建設参事	佐原 勝博
建設課 都市・住まい政策室長	若月 由紀
建設課 都市・住まい政策室係長	佐原 紗耶香
建設課 都市・住まい政策室係長	遠藤 雄貴
建設課 都市・住まい政策室主任	平山 辰巳

会議録署名

会 長 横 山 寛 道

第 1 号委員 加 藤 俊 昭

第 2 号委員 鈴 木 一 則

※ 原本に署名

- 1 開 会 佐原建設参事が開会を宣した。
- 2 任命書交付 委員全員に任命書の交付を行った。
- 3 委員・職員の紹介 進行より委員・職員の紹介を行った。
- 4 あいさつ 齋藤副市長があいさつを行った。内容は次のとおり。

副市長：本日はお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。ただ今市長に代わって任命書を交付させていただきましたが、快くお引き受けいただき、感謝申し上げます。今後２年間長井市の都市計画に関わる施策へのご指導・ご助言を賜りますようよろしくお願いします。全国では人口減少・少子高齢化が進んでおり、長井市においても例外ではなく、日常生活に必要な医療・商業・福祉等の都市機能の低下や、財政状況の悪化による行政サービスの低下が懸念されることから、コンパクトプラスネットワークのまちづくりを進めるため、平成31年3月に長井市立地適正化計画を策定しました。この計画はまちづくりの基本方針を子育て世代と高齢者に寄り添ったまちづくりと定め、くるんとや長井病院といった都市機能を整備して参りました。本日は令和４年３月に国の事業認可を受けました都市計画道路長井駅海田線について、地元長井駅前まちづくり協議会の要望を受けまして、県と環状交差点の協議を行って参りました。この度、県都市計画審議会を開催するにあたり、県から環状交差点導入に係る意見照会がありましたので、本日の審議会でご意見等賜りたくご審議お願い申し上げます。

5 会長・副会長の選出

- ① 新たな任期の第１回目の都市計画審議会ということで、会長・副会長が不在だったため、事務局の提案で、横山委員が仮の議長に就任した。
- ② 横山議長が、会長・副会長をどのように選出するか諮ったところ、加藤委員から、指名推選の方法により選出すること、事務局を指名者とする旨の提案があった。
- ③ 提案について異議はなく、指名推選の方法で選出すること、事務局が指名することに決定した。
- ④ 続いて、横山議長が事務局に指名を求め、事務局から、会長に横山委員、副会長に内谷委員との指名があった。
- ⑤ 横山議長が事務局の提案について諮ったところ、提案どおり、会長に横山寛道委員、副会長に内谷邦彦委員が決定した。

6 議事録署名委員の指名 長井市都市計画審議会議事運営規則第７条の規

定に従い、横山会長が第 1 号委員から加藤委員を、第 2 号委員から鈴木一則委員を指名した。

会長挨拶：会長の指名をいただきました。委員として 20 数年、会長として 20 年程務めさせていただきました。今回は駅前通りの長井駅海田線の都市計画道路の変更についての話です。駅前まち協の会長もしているので、四つ角整備をロータリーにと個人的に言ってきました。国の認可を受けた令和 4 年に要望した時に、県から会員の同意が欲しいと言われたので、1 週間で 60 人程度の署名を集めたところです。県の都計審に諮るために長井市の意見を求められています。私も令和 4 年度で退任したいと言ってきましたが、これも何かの縁として、区切りとして会長の任を受けさせていただいたところです。皆様のご協力をいただきながら務めさせていただきたいのでよろしくお願いします。

7 諮 問 副市長より横山会長へ諮問が行われた。

8 協 議

(1) 長井都市計画道路（長井駅海田線）の変更について

① 事務局から説明があった。

② 事務局の説明について質疑応答が行われた。内容は次のとおり。

委員：以前から興味があってラウンドアバウトサミットにも参加した。ラウンドアバウトの海外の実例を見せていただいた。ルールに則って運用させていて壮観であった。長井市でも導入されたら良いと思う。より長井らしさを取り入れたものをつくっていただければ長井市の良い未来につながっていくのではないかと思います。

委員：長井駅海田線の全体的な位置づけの説明が欲しい。(事業費、国・県・長井市の負担割合) また、セミトレーラーの運行を考慮したラウンドアバウトとあるが、通行に際してどの位の面積が必要となるのか説明をいただきたい。

事務局：令和 4～10 年度の認可区間において、全体事業費が 23 億円となっている。市の負担割合については、基本的に 10%となっている。

事務局：セミトレーラーについては、緊急避難道路となっているためトラックが曲がる事が出来る範囲にする必要がある。当初、県の計画では 32m の外径であったが、広過ぎたため、中央島を小さくして、径を 2m 小さくして、30m にしてもらった経過があった。緊急輸送道路でなければ 28m で十分かと思われた。デメリットについてだが、懸念される交通量について

も問題が無いと思われるし、径が大きくなれば横断歩道も大きくなるという話だが、30mのラウンドアバウトであればそういう懸念はない。デメリットということで判断は出来ないのご理解いただきたい。

委員：日産までの区間について採択を目指していたと思っていたが。

事務局：今回は第1工区であり、令和10年度以降も第1工区以东の部分について要望していく。

会長：中央十字路から国道まで（第2工区）早期の着工を要望している。

委員：中央十字路が広くなったので、ここにラウンドアバウトができるのではないかと思っていた。平山には歩行者がほとんどいないが、駅前交差点はそこに比べ歩行者が多い。高齢者や子供さんが歩く際にどのようなルールになるのか伺いたい。

事務局：中央十字路は都市計画道路桐町成田線の事業で整備した。歩行者については、ラウンドアバウトは通行の際に、車が必ず減速する。歩行者には安全な構造だと考えている。長井小学校にも普及啓発していかなければならない。

事務局：信号よりも歩行者が絶対だという意識を醸成させる必要がある。行政だけではなく、警察などの協力も必要。平山のラウンドアバウトをつくった際は一定期間警察にも立ってもらった。交通安全には十分気を付けていく。

委員：歩行者が右回りになるとかではないということか。歩行者を待つ際に車が渋滞しないか。

事務局：歩行者は左側に出て横断歩道を渡ることになる。ラウンドアバウトにしたからといって通常の交通ルールが変わるものではない。交通量が多いと渋滞も考えられるが、この程度の交通量の交差点であれば、影響がない範囲であると思われる。

会長：歩行者が横断歩道を渡る際に注意するのは、左からは絶対車が来ないので、右さえ注意しておけば分離島へ行くことができる。分離島からだとも右からは来ないので、左に注意しておけば良い。歩道者にとっても安全だと思う。日本人は苦手だが、歩行者と運転者の間で行うアイコンタクトでのコミュニケーションも重要になる。歩行者専用の信号機というものもある。必要であればそういったものの設置の検討も必要かと思う。

委員：長井駅海田線の基本的なところだが、道路幅が 16～18m となっている。現況の道路より拡幅になるかと思う。現況線の外側に赤い範囲があるが、用地買収等が新たに出てくる部分なのか。

事務局：赤い範囲は用地買収が必要となってくる部分。右折レーンが無くなったことに伴って用地買収が不要となる黄色の範囲も出てくる。

委員：消雪はどのように入るのか。環状になるので、歩道や中央の部分はどのようなになるのか。

事務局：消雪は従来通り散水を想定している。円の内側を消雪にするのか、もっと消えやすい方法にするのかは検討課題となる。消雪にするのは間違いない。歩道に関しては桐町成田線同様、無散水消雪にしていこうという考えである。

委員：やはり市民は中央十字路がラウンドアバウトになるのではないかと考えている人が多い。交通量が多い所をラウンドアバウトにするのが普通だと思うが、駅前交差点をラウンドアバウトにする目的を教えてください。

事務局：中央十字路は今年度までの桐町成田線の街路事業で整備されているので、避難所となっている市役所の一番近くにある交差点をラウンドアバウトにすることが避難導線として一番適切なのではないかと考えている。

事務局：ラウンドアバウトは非常にシンボリックなもの。長井駅を出ると、市役所があってくるとあって、そしてラウンドアバウトがある、というまちづくりの一環として整備したい。安全性の面とシンボル性の面、そこを組み合わせる位置という考え方。

会長：平成 24 年から協議会を発足し、今まで要望活動を続けてきた。きっかけが、桐町成田線が採択になり平成 22 年から事業が始まり、駅前通りは右折帯を設けるための部分でのみの整備計画であった。駅前通りを中途半端に終わすのではなく、桐町成田線が終わった後には引き続き駅前通りも、という思いから駅前まち協が発足したと思っている。ラウンドアバウトに伴う変更には、色んなことがあり、難しいとはっきり言われた。しかし、当時の次長が熱心な方で、できるか分からないが、やってみようと思いにけしかけられた。私たちの要望と市長の声掛けと現県土整備部長がラウンドアバウトの黎明期に関わった方であるということが重なって、一気にラウンドアバウト設置の流れになった。そして今審議会を開き、手続きをしてもらっているところ。意見をまとめさせていただきたいのでご理解をいただきたい。

委員：環状交差点については、委員長が 10 数年前から旗振りしてやって来られたが、最初話を聞いた時は無理だと思った。中央十字路ではなく、駅前十字路なのかという意見もあったが、私としては、駅前十字路だからこそ環状交差点とできるのかなと考えている。9 月定例会で建設参事に意見・質問させてもらったが、デメリッ的な要素は無い、むしろ防災拠点としての市役所を考えた時にメリットとなり得ると回答をいただいたところだった。やっていっても良いと思っている。むしろ中央十字路よりはこちらの方が相応しいのかなと考えている。そこで、交差する四ツ谷宮前線だが、市役所駐車場から南側にかけての部分は歩道が整備されているが、市役所駐車場から旧イタガキスポーツまでの部分がそのままになっている。環状交差点の南側の道路については、どうなるのか。そして、四ツ谷宮前線の都市計画道路の事業予定はあるのか。

事務局：歩道の件だが、今年度で第 3 期都市再生整備計画事業が終わる。第 4 期を計画するにあたって、まだできていない歩道についてはその中に組み込む予定。そうすることで県の事業と同じ時期にできるのではないかと考えている。四ツ谷宮前線も都市計画道路として整備していくかについては、指定はされているものの、今の時代に、あの道路を本当に都市計画道路として整備すべきなのか。片側歩道で整備を行っているが、それで十分だと考えている。長井市全体の都市計画道路の見直しも必要であると考えている。ここ 2～3 年の間に決めていきたい。歩道整備の工事自体は行うが、都市計画道路としての整備は考えていない。

委員：長井駅海田線の工事は西・東のどちらから始まるのか。

事務局：まだ決まっていない。

会長：私共も聞いていない。

委員：ラウンドアバウトについては、市で進めてきた。街路の中に入れるかどうかはポイントであったと思う。地元の総意として進めてきた経過があり、周辺に市役所新庁舎やくるんとがあり、将来的にこのエリアは長井市の中心となる位置付けであることも考えて、この計画変更については賛成である。

③ 採決が行われた。

会長：採決に入りたい。(1) の変更について、賛成の方は挙手をお願いします。
⇒全員挙手。

会長：答申については、事務局と調整して、私に一任してもらって良いか。
⇒異議なし。

(2) 長井市の都市計画・立地適正化計画の概要について（説明）

① 事務局から説明があった。

② 事務局の説明について質疑応答が行われた。その内容は次のとおり。

委員：今一番足りないものは、「市民の意識」だと思う。市民の意識の改革も並行して必要だと思う。今回、能登半島で震災があったが、耐震等についてどれくらい考えているかなど。計画を作る際には動機付けも一緒にやっていく必要があるのではないかな。やっていること自体は素晴らしいと思うが、市民がどれだけついてくるか、クリアできないと絵にかいた餅になるのではないかな。

委員：古いまちなみの保存が耐震化の足枷となって家屋倒壊等につながったのではないかな。行政が進めているまちづくりの部分とそれを守っていく住民の意識の隔たりが災害を多くしてしまったのではないかと考えている。議会で行政と民間がタイアップした耐震化、空き家対策等を提言したが、なかなか進まない。行政でやることを市民に落とし込む必要がある。民間の力を借りながら具体化しないと進めていくことは難しいのではないかな。部署というよりも組織・仕組みをつくっていくことが必要。

事務局：業務を行っていく中でもそのように感じている。こういった都市計画審議会も含めて、機会を捉えて、問題提起、情報提供していきたい。

会長：難しい問題だと思う。長井市は制度を利用するのが上手いと思うので、期待したい。

委員：子育て支援について、長井市は一生懸命取り組んでいるが、産婦人科が市内に1軒も無いと不安がる市民の声も聞く。産婦人科の先生を長井市に呼べないものだろうか。子育ての前にまずは安心して子供を産める環境が必要だと感じる。

以上で協議を終了し、横山会長が議長の任を離れた。

9 その他 その他の事項は無かった。

10 閉 会 佐原建設参事が閉会を告げ散会となった。